

ベルギー サンブノワ高校 高間陽心さん

留学期間 R7.8～R8.7 (1 年間)

1 留学の成果

私がベルギーでの約一年間の留学を通して得たものは、語学力だけではありません。現地での学校生活やホストファミリーとの生活、さまざまな人との交流を通して、自分から行動することの大切さや、異なる文化や価値観を理解しようとすることの重要性を学びました。また、日本とは異なる環境で生活することで、物事を一つの視点だけではなく、多面的に見ることができるようになりました。

学業面ではフランス語を身につけられたことが大きな経験の一つです。留学当初はフランス語をほんの少ししか話すことができず、現地の人とコミュニケーションを取る際には英語を使うことが多くありました。しかし、ベルギーで生活する以上、できるだけ早く現地の言葉で人と関わりたいと考え、自分から積極的にフランス語で話しかけることを意識しました。最初は簡単な会話にも苦労しましたが、学校の友人との会話や日常生活の中でフランス語を使い続けることで、少しずつ自分の言葉で伝えられることが増えていきました。帰国する頃には、スムーズに会話したり、フランス語で映画を見たりできるようになり、ほとんどフランス語を話せなかった状態から約 10 か月間でここまで成長できたことは、自分にとって大きな自信になりました。この経験から、できないことでも自分から挑戦し続けることで、少しずつできることが増えていくのだと実感しました。

生活面では、ホストファミリーや学校の友人との交流を通して、慣れない環境の中でも自分から人と関わっていくことの大切さを学びました。ホストファミリーと生活を共にし、さまざまなイベントに参加したり、友人と出かけたりする中で、授業だけでは知ることのできないベルギーやヨーロッパの生活や文化を実際に体験することができました。また、日本で行っていた吹奏楽を留学先でも続け、トランペットでコンサートに参加したり、4 歳から続けている空手をホストファミリーと一緒にに行ったりしました。慣れない環境でも自分から行動することで、新しい環境の中でも人とのつながりを築くことができました。

そして、今回の留学で特に大きく変わったのが、私の世界の見方です。ベルギーはフランス語、オランダ語、ドイツ語が使われる多言語国家であり、さまざまな国にルーツを持つ人々が暮らしています。実際にその中で一年間生活することで、異なる文化や言語、価値観を持つ人々が共に生活していることを身近に感じました。ホストファミリーの親戚や学校の友人との交流を通して、自分にとっての「当たり前」が相手にとっても当たり前とは限らないことを何度も経験し、相手の文化や背景を知ろうとすることが大切だと実感しました。

また、私は留学中に日本文化を伝える活動もしました。現地の学校で日本についてプレゼンテーションを行い、発表後の質問に答えたり、ベルギー人の生徒と一緒に中学校を訪問し、日本の文化や伝統を取り入れた物語を発表したりしました。さらに、ホストファミリーや親戚に日本料理を作って振る舞う機会もありました。これらの経験を通して、海外の文化を学ぶだけでなく、自分自身が日本について説明することで、改めて日本の文化や自分自身の捉え方について考えることができました。

この一年間を通して、私は、異文化を理解するということは、外国の文化について知るだけでなく、自分とは違う考え方を持つ人の背景を知ろうとすることなのだと感じました。留学前には一つの視点でしか考えられなかったことでも、異なる文化や価値観に触れることで、別の立場か

ら考えられるようになりました。さまざまな経験を通して、一つの考え方だけで判断せず、いろいろな角度から物事を見ることができるようになったことは、今回の留学で得た大きな変化の一つだと感じています。

今回の留学は、私にとって語学力を身につけるだけでなく、自分の世界を広げる大きなきっかけとなりました。これからもこの一年間で得た語学力や経験を大切にし、さまざまな考え方を持つ人の話を聞き、自分自身の視野をさらに広げていきたいと思います。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・ フランス語
- ・ 数学
- ・ 英語
- ・ 社会科学
- ・ 生物
- ・ 科学
- ・ 物理
- ・ 歴史
- ・ 地理
- ・ 宗教
- ・ 体育
- ・ フランス語コミュニケーション

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・ 空手に参加
- ・ 吹奏楽部に参加し、多くのコンサートで演奏
- ・ habay-la-neuve で開かれたトレイルマラソン 14km 部門で、828 人中 85 位
- ・ 現地人と協力し、中学校に訪問して日本文化や伝統を取れ入れた物語を発表した。
- ・ 日本文化についてのプレゼンと、Q&A を行った。
- ・ ベルギーの多言語国家をテーマとした探究活動
- ・ ホストファミリー、親戚、他のホストファミリーに対して、日本料理を振る舞った。

3 今後の活動予定

今回の留学で身につけたフランス語を、帰国後も継続して学び、より深い内容をフランス語で話せるようになりたいです。

また、留学を通して興味を持った異文化理解や国際関係、多文化共生について大学で学びたいと考えています。大学進学後には再び海外へ留学し、今回訪れることのできなかった国や地域にも実際に足を運びたいです。

将来は、留学で身につけた語学力や異文化を理解する姿勢を生かし、国や文化の違いを越えてさまざまな人と関わることのできる人になりたいです。

4 ふるさと納税寄付者へのメッセージ

このたびは、私のベルギー留学に温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様のご支援のおかげで、貴重な経験を通して語学力や異文化を理解する力を身につけることができました。今後は、留学で得た学びを学校や地域で発信し、少しでも多くの人に海外や異文化に興味を持ってもらえるよう努めていきたいと思っています。この経験は私の人生にとって、かけがえのない宝物になりました。今後はこの学びを将来に活かし、さらに成長していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

5 記録写真



家族でバルセロナに行った時。



友達と soirée に行った時。



空手の黒帯の人たちと写真を撮った時。



吹奏楽でカーニバルに参加した時。